

11月9日国際協力街頭募金に参加して
平安徳義会 参加者より

「国際協力街頭募金」 小学4年 かわぎし れいな
はじめての募金で楽しかったよ。声を出す時にすごく緊張しました。だけど、ゆう三君が大きな声で言っただけから大きな声で言えたよ。そしたらだんだん緊張が無くなってきました。大きな声で言えてとてもうれしかったです。お金を入ってもらった最初は「二百円」でした。「なんか、わからなかったけど」うれしかったです。ほかの人からは、「五百円」「千円」を入れてくれた人もいてびっくりしました。

『ぼきん、おねがいします!!』 小学4年 田村 正恵
街行く人に、声をかける。初めての事なので緊張していましたが、みんなの声に後押しされるように私もどんどん大きな声が出るようになってきました。そんな時、一人の人が私の持っている箱に募金をしてくれました。うれしい気持ちと同時に「もっと入れてほしいな～」「もっとがんばる～」と、いう気持ちになりました。みんなでがんばった募金活動。誰かの役にたてたことがとても良い経験になりました。

募金運動に行った時の感想 小学6年 近藤 菜々胤
11月9日に4年生から6年生の女の子と6年生の男の子で、募金活動に行きました。初めてで、とてもドキドキしていました。やっていた時たくさん集まるのかな～と、とても不安でした。だけど、たくさんの方がいっぱい募金をしてくれました。とてもうれしかったです。たくさんの方の中に小さい子も一緒に募金をしてくれました。百円で安全な水が12本買えるそうです。わたしは安全な水が12本も買えるのでとてもすごいと思いました。わたしは募金活動で思ったのは食べ物食べられない国もあるので物はそまつにはいけないということが大変わかりました。

小学6年 田村 勇三
11月9日の国際協力募金にわざわざ呼んでくださりありがとうございます。僕たちも役にたててよかったです。感想は、始めは少しはかしくて声をしっかりだせるかな～とと思っていましたがだんだんと慣れて次第に声が出てきました。それにお金の方もいっぱい集まったので嬉しかったです。やっている時は、ちょっと遊び半分でお金がどんだけ入っているかと言うゲームみたいな事してました。ごめんなさい。そして最後にはジュースも買っていただき本当にありがとうございます。また、来年も是非呼んでください。お待ちしております。11月9日はすごい楽しい1日となりました。本当にありがとうございます。
みなさんご苦労様でした。感想文の原文はウェブサイトに掲載しております。
<http://www.kyoto-west.com/>



役員会報告
12月4日(木)今出川YMCA
副会長 立山 隆一

12月4日(木)19:00~今出川YMCAにおいて12年度の役員会例会が河合書記の司会で始まりました。最初に報告事項として山下ドライバー委員長から12月20日のクリスマス例会についての注意事項について、続いて野々口Yサ委員長から11月23日に開催された100周年フェスタについて報告があり来場者数3,000人、ワールドフードは完売。そしてウエストクラブの売上げとしてフード・写真を合わせ92,700円あったと説明がありました。続いて胡内会長から2月1日に開催される京都部ボーリング大会を盛り上げる為に各クラブ20名は参加してほしいと要請が来ている事と11月20日に行われた、めいぶるクラブ20周年記念例会の報告、森田DBC委員長からは5月8・9日に山中湖畔で東京ひがしクラブとの合同例会についての報告、松本ファンド委員長からはポテトファンド収支・みかんファンド進行報告、島田環境副委員長からはCO2TAX11月度報告と環境家計簿について報告、そしてその他の委員長から委員会活動報告があり報告事項最後に中瀬ワイズにクラブとして見舞金5,000円を贈る事を胡内会長が報告、胡内会長から他クラブ関係について、中田主事からYMCA関係について話された後、議案に移りました。議案は04年1月10日3クラブ合同新年例会に協賛金は30,000円とするについては、承認されました。以上で定刻になり役委員会を無事終了いたしました。皆さんご苦労様でした。

参加メンバー 計15名



クリスマスキャロルナイト
12月19日(土)京都駅大階段
広報委員長 野田 泰伸

京都YMCA100周年記念の行事も大詰めになってきました。12月19日クリスマスキャロルナイトがJR京都駅ビル大階段室町小路広場で開催されました。比較的温暖な師走でしたが、開催日直前の寒波襲来で急に冷え込み、極寒のなかでの開催でした。大階段の正面には20m余りのビッグクリスマスツリーがそびえたっていました。1人ずつ白い布をまといペンライトを手渡されて、約千人の参加者が次々と階段を埋めてゆきました。兼松豊牧師のユニークな司会で午後6時30分オープニング。トップに聖母学院中学高等学校ハンドベルクワイアの登場でした。ハンドベルの音色が会場に響きわたり、クリスマスの雰囲気を感じました。次に各教会

合同聖歌隊によるキャロルでは息の合った歌声で熱唱されてました。その次に大和田広美さんの登場です。1歳9ヶ月麻疹により失明、4歳でピアノを始め、現在シンガーソングライターとして活躍されているそうです。のびのあるボーカルと繊細なピアノ演奏に一同聞きいておりました。その後兼松牧師のクリスマスメッセージの頃には小雪がちらつき一段と寒さが増し寒さで手足もしびれてきました。ネクストライブという初めて見る若手グループが真っ白な衣装で、サザンの白い恋人達の歌声と共に登場。次々と曲を披露。目をつむって聞いているととてもアカペラとは思えないほどのテクニシャンでした。最期に本田路津子さんが寒そうな衣装で登場。1970年代の私は中学生でしたが、今も変わらぬ澄んださわやかな歌声はなつかしい気分でした。時折吹く突風で、ステージの幕はめくりあがるほどでしたが、歌いきるとは、さすがプロです。極寒の寒さに負けられないよう重装備で来たにもかかわらず、体の芯まで冷え切っていました。参加者全員がきよしこの夜を歌ったあと、いよいよフィナーレです。1年数ヶ月間企画、準備いただいた役員の皆様、たいへんお疲れ様でした。

参加メンバー 7名 メネット 3名 コメント2名
合計 12名

クリスマス例会
12月20日(日)パークホテル
EMC委員長 藤居 一彦

久しぶりのパークホテルでの例会で、それも100人を超えるクリスマス例会！わくわくします！6時30分、胡内会長の開会点鐘で始まりました。まず会長挨拶、12月で半期ともなると会長職も板に付いた物でさすがです。コメントのキャンドルサービスはいつ見ても可愛らしくて良いもので、中田連絡主事の食前感謝もクリスマスという事で、気合が入っているように思います。全員でクラッカーを鳴らし、さぁ食事！今日は人数も多く、クリスマス例会でアルコールも有るので、食事でも活気が有る様に思うのは私だけでしょうか？さぁ！いよいよ、お待ちかね！宮川大助！・・・じゃあなくて、ビッグバンド・アドニス演奏の始まり！さすが、最近では聞く機会が少ないビッグバンドは迫力有ります。私個人の抱いていたバンドマンの印象とは少し違う、可愛い女性が演奏したりで、いいものですね。会長の歌も飛び出し(役得やなあ！)アンコールの喝采の後、無事終了！その後、子供たちのお待ちかねのサンタさん登場！体型はぴったり！よく似合ってた！ハッピーバースディやアニバーサリー、ニコニコも人数が多いと活気が有りますね、やはり人数は多いほうが楽しそう・・・ゲストの皆様、アドニスの皆様、三役、ドライバー委員会の皆様、感謝！

118名参加のクリスマス例会でした。
参加 メンバー21名 メネット11名 コメント19名
ゲスト 67名 合計118名



メネットコーナー
～新しき年に～
森田 直子メネット

新しき年に改めて春を願う心境です。日頃はメネットの活動にご理解をいただき感謝しています。ウェストクラブもニューメンバが増えてきましたので、ここでメネットについて歴史をひもといてみたいと思います。メネットの立場を表した「メネット活動の手引き」(黄色の表紙)お持ちでしょうか。戦後ワイズメンズクラブが最初に来た頃の大阪クラブでは奥さん達がブラザークラブから送られてきた材料でケーキを焼き、戦災孤児500人を招待したとされています。その後例会の食事作りや、手作品のバザーで献金をされていること等メネットの息づかいが感じられ、メネット独自の学びの機会を得た結果、メネットの行動が積極的に展開されてきました。いつもメン・メネットはワイズ列車の両輪であると言われてます。現況では職業をもつメネットが多く、またそれぞれの場で活動されているメネットが増えてまいりました。しかし年齢の差や立場の違うメネットの交流は自分の成長の糧となるのではないのでしょうか。夫婦を中心とし共通の話題を持つて社会の横のつながりを深めることは、社会奉仕が叫ばれている今大切なことだと思います。ワイズを理解するためには先ず行事に参加することです。西日本区大会・部会・e t c 自分達で楽しんでください。受け入れる方も初めて参加のメネットさんには声をかけて、メネットの輪に溶け込める様に心遣いしようではありませんか。

交流委員会の報告
IBC/DBC 委員長 森田 恵三

12月25日にウエストの役員一同のサインをした Greeting card をIBCの台北ダウタウン・鍾路クラブとDBCの東京ひがしクラブへ送りました。それに先立ってIBCの羅さんと李さんに会長名を知らせてほしいとの手紙とともにブリテンと名簿を送りましたが、そのときにメネット直子と中瀬ワイズのことも知らせました。両クラブからの返事には会長名と住所のお知らせと、合わせて二人の病気については本当に大きなショックを受けたこと、そして早い回復をクラブ例会でお祈りするという嬉しい友情こもった言葉が綴ってありました。又、台北のメンバー3人が9月のアジア大会に出席したときには、私を探したが会えなかったことが残念だったと書いてありました。国際クラブであることを思いださせることでした。2004年インド国際大会参加を迷っている今、どうしたものでしょうね。どなたか一緒に行かれますか。